

時代の顔



2026 3.13 (金) > 5.10 (日)

11:00-17:00

中村正義の美術館



開館日 金・土・日・祝日

入館料 一般・大学生 500円 / 小・中・高生 200円

1968年5月から「月刊20世紀」（20世紀社刊）の表紙を1年半にわたり担当した正義は三島由紀夫氏、福田赳夫氏など本人と直接会話しながらデッサンをして、20人の肖像画を描きました。今回はその中から13点を展示。他に同年代に描いた屏風、風景、花、顔シリーズなど40余点をご紹介します。

日本画
中村正義



《爽爽》愛知県美術館蔵1966年



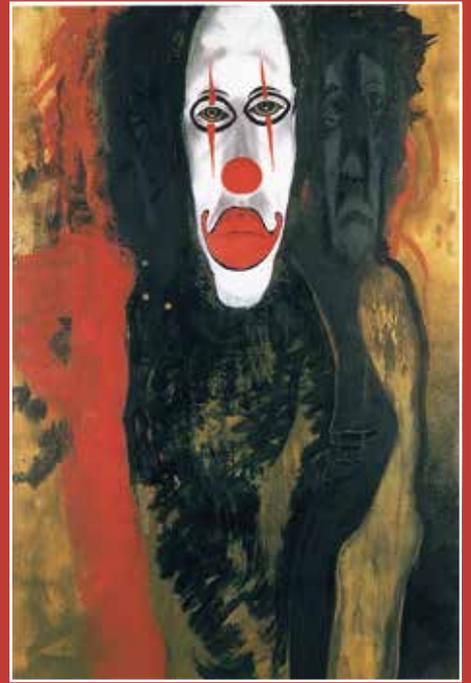
《斜陽》豊橋市美術博物館蔵1946年



《日》山種美術館蔵1969年



《男女》名古屋市美術館蔵1963年



《ピエロ》神奈川県立近代美術館蔵1976年

- 1924年 —— 愛知県豊橋市に生まれる。
- 1946年 —— 中村岳陵に師事（画塾 蒼野社）。
第2回日展に《斜陽》（豊橋市美術博物館蔵）で初入選。
- 1950年 —— 第6回日展《谿泉》（豊橋市美術博物館蔵）で特選を受賞。
- 1952年 —— 第8回日展《女人》で特選を受賞。結核療養のために日展への出品を中断する。
- 1957年 —— 第13回日展、《女（赤い舞妓）》（豊橋市美術博物館蔵）委嘱出品。
- 1958年 —— 第1回新日展、《舞妓（白い舞妓）》（荒井神社蔵）委嘱出品。
- 1959年 —— 第2回新日展 《舞子（黒い舞妓）》（BSN新潟放送蔵・新潟市美術館寄託）委嘱出品。
- 1960年 —— 第3回新日展の審査員として《太郎と花子》（鳳来寺蔵・名古屋市美術館寄託）を出品。
- 1961年 —— 川崎市細山に転居。蒼野社を退会、日展からも退く。
- 1963年 —— 個展「男と女」を上野松坂屋・名古屋丸栄で開催。従来の画風を一変した野心作30点を発表。
《男女》（名古屋市美術館蔵）〈男女〉（徳島県立近代美術館蔵）〈女〉（刈谷市美術館蔵）
- 1964年 —— 映画「怪談」（小林正樹監督）のため《源平海戦絵巻》5部作（東京国立近代美術館蔵）を制作。
- 1966年 —— 個展「顔の自伝」を日本画廊で開催。《顔》シリーズ100点を発表。
「第7回現代日本美術展」（東京都美術館）招待部門に《爽爽》（愛知県美術館蔵）他出品。
- 1969年 —— 個展「太陽と月のシリーズ」を銀座三越で開催。《日》（山種美術館蔵）他35点を発表。
- 1970年 —— 写楽研究の成果、『写楽』（ノーベル書房）を出版。
- 1974年 —— 「黒い太陽・7人の画家 第1回人人展」を日本橋・三越で開催。
《うしろの人》（豊橋市美術博物館蔵）《裸婦》（刈谷市美術館蔵）他15点を発表。
- 1975年 —— 東京展実行委員会事務局長として展覧会開催に向けて奔走。
「第1回東京展」（東京都美術館）に《おそれ》（豊橋市美術博物館蔵）出品。
- 1976年 —— 「第2回人人展」（東京都美術館）に《ピエロ》（神奈川県立近代美術館蔵）他48点を発表。
- 1977年 —— 4月16日肺癌により逝去。享年52歳。

中村正義略年譜

photo by 槇野尚一



中村正義の美術館

開館日 春(3-5月) / 秋(10-11月)
金・土・日・祝日

入館料 一般・大学生 / 500円
小・中・高生 / 200円



〒215-0001 神奈川県川崎市麻生区細山 7-2-8
Tel. 044-953-4936
nakamuramasayoshi.com/

| | | | | |
|------------------|-----------------|-----|-------------------|----------|
| 京王線 京王よみうりランド | 寺尾台団地行 | 10分 | バス停「細山下車」 徒歩5分 | 中村正義の美術館 |
| 小田急線 読売ランド前 | 京王 よみうりランド駅行 | 10分 | | |
| 小田急線 新百合ヶ丘 | よみうりランド | 25分 | | |

※新百合ヶ丘駅から乗車の際「細山」停留所は終点からひとつ手前です